



営農タイムリー！



発生予察情報について(10月)

2021年10月9日発行

病害虫発生予報第8号(10月)

京都府病害虫防除所より、10月の予察情報が発表されました。

病害虫発生予察第8号(10月) (抜粋)

作物名		病害虫名	予想発生量 (平年比(前年比))
野菜	アブラナ科野菜	コナガ ハイマダラノメイガ べと病 白斑病 黒腐病・黒班細菌病	<u>やや多</u> (やや多) <u>やや多</u> (やや多) やや少 (並) 並 (やや少) 並 (並)
	野菜類全般	ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ オオタバコガ ハモグリバエ類	<u>やや多</u> (やや多) <u>やや多</u> (やや多) <u>やや多</u> 並 (並)
	ネギ	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	並 (並) <u>やや少</u> (やや多)
	キャベツ	菌核病	並 (少)
黒大豆 ・ アズキ		ハスモンヨトウ ハダニ類	<u>多</u> <u>やや多</u>
黒大豆		吸実性カメムシ類	<u>やや多</u>

アブラナ科野菜

1. コナガ

予報内容 発生量 : 平年比多い(前年比 やや多い)

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 年間の発生回数が多く、各生育段階(卵、幼虫、蛹、成虫)が混在する。
- (2) 雨が多いと発生が抑制される傾向がある。
- (3) 雨よけ栽培の場合、降雨に関係なく急速に増殖する事がある。
- (4) 被覆資材などを利用し、物理的防除に努める。

成虫



老齢幼虫



幼虫と蛹



2. ハイマダラノメイガ [ダイコンシンクイムシ]

予報内容 発生量 : 平年比やや多い(前年比 多い)

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 生育初期に加害されると欠株等が生じ、大きな被害になるので注意する。
- (2) 雨が多いと発生が抑制される傾向がある。
- (3) 雨よけ栽培の場合、降雨に関係なく急速に増殖する事がある。
- (4) 被覆資材などを利用し、物理的防除に努める。

ハイマダラノメイガ



幼虫



■ キャベツ コナガ・ハイマダラノメイガ の 防除体系 例

育苗期に

定植時に

28

ベソマーク^{sc}

[400倍 育苗期後半～定植当日
/灌注 / 1回]

OR

4A
28

ミネクト デュオ 粒剤

[プリロツ+アクタ]

[1g/株 育苗期後半～定植時
/株元散布 / 1回]

又は

28

プリロツ 粒剤

[1g/株 育苗期後半～定植時
/株元散布 / 1回]

発生が認められたら

30

グレーシア[®] 乳剤

[2000～3000倍 収穫7日前まで / 2回以内]

プロフレア^{sc}

[2000～4000倍 収穫前日まで / 3回以内]

UN

プレオフロアブル

[1000倍 収穫7日前まで / 2回以内]

5

ディアナ^{sc}

[2500～5000倍
収穫前日まで / 2回以内]

6

アキ 乳剤

[1000～2000倍
収穫3日前まで / 3回以内]

アフーム 乳剤

[1000～2000倍
収穫前日まで / 3回以内]

15

カスケード 乳剤

[2000～4000倍
収穫7日前まで / 2回以内]

ローテーション散布

11A

エコマスター^{BT}

[1000倍 発生初期
但し、収穫前日まで / -]

6:15

アフームエクセラ[®] 顆粒水和剤

[アフーム+マッチ]
[1000～1500倍 収穫7日前まで / 3回以内]

28

ベネビア^{OD}

[2000～4000倍
収穫前日まで / 3回以内]

ヨーバルフロアブル

[2500～5000倍
収穫前日まで / 3回以内]

プリバソ フロアブル5

[2000倍 収穫前日まで / 3回以内]

フェニックス 顆粒水和剤

[2000～4000倍
収穫前日まで / 3回以内]

21A

F:39(C1)

ハチハチ フロアブル

[1000倍 収穫14日前まで / 2回以内]

野菜類全般

1. ハスモンヨトウ

予報内容 発生量 : 平年比やや多い(前年比 やや多い)

発生生態及び防除上注意すべき事項

(1) 齢が進んだ幼虫は周囲に分散し、かつ、薬剤の効果が著しく低下するので、若齢幼虫期の防除が重要である。



ふ化幼虫



雄成虫



幼虫



雌成虫



野菜類全般

2. シロイチモジヨトウ

予報内容 発生量 : 平年比やや多い (前年比 やや多い)



卵



成虫



幼虫



蛹

■ ネギ シロイチモジヨトウ の防除体系 例

発生が認められたら

UN

プレオフロアブル

[1000倍 収穫3日前まで / 3回以内]

11A

エコマスターBT

[1000倍 発生初期
但し、収穫前日まで / -]

15

カスケード 乳剤

[4000倍 収穫14日前まで / 3回以内]

6:15

アフームエクセラ
顆粒水和剤

[アフーム+マッチ]
[1000~1500倍 収穫7日前まで / 3回以内]

30

グレースィア 乳剤

[2000~3000倍 収穫7日前まで / 2回以内]

プロフレアSC

[2000~4000倍 収穫前日まで / 3回以内]

5

ディアナSC

[2500~5000倍
収穫前日まで / 2回以内]

28

ベネビアOD

[2000倍 収穫前日まで / 3回以内]

ヨーバル フロアブル

[2500~5000倍
収穫3日前まで / 3回以内]

プロバソ
フロアブルS

[2000倍 収穫3日前まで / 3回以内]

フェニックス
顆粒水和剤

[2000~4000倍
収穫7日前まで / 3回以内]

ローテーション散布

野菜類全般

3. タバコガ類〔オオタバコガ、タバコガ〕

予報内容 発生量 : 平年比多い(前年比 やや多い)

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫が食入しているトマト、ナス、トウガラシ等の果実は処分する。
- (2) 幼虫が果実等に食入したり、また幼虫の齢が進むと防除効果が低下するので、早期発見に努め、食入前及び若齢期に防除する。
- (3) オオタバコガはナス科、マメ科、アブラナ科野菜等広範囲の野菜、タバコガはナス科野菜を加害するとされている。



蛹



成虫



■ ナス オオタバコガの防除体系 例

発生が認められたら

I:6

アフームエクセラ
顆粒水和剤

I:15

[アフーム+マッチ]

[1500倍 収穫前日まで/2回以内]

I:5

ディアナ
SC

[2500~5000倍

収穫前日まで/2回]

I:UN

プレオフロアブル

[1000倍 収穫前日まで/4回以内]

I:6

アフーム

[2000倍 収穫前日まで/2回]

アニキ 乳剤

[2000倍 収穫前日まで/3回]

ローテーション散布

I:28

フェニックス
顆粒水和剤

[2000~4000倍 収穫前日まで/3回以内]

プレバソ
フロアブル

[2000倍 収穫前日まで/2回以内]

ヨーバル フロアブル

[2500~5000倍 収穫前日まで/3回以内]

I:15

コテツ フロアブル

[2000倍 収穫前日まで/4回以内]

I:30

グレーシア 乳剤

[2000倍 収穫前日まで/2回]

(賀茂なす・水なすでは薬害が生じる恐れがあるので使用しない)